



令和4年11月21日
中部地方整備局
木曾川下流河川事務所

「動く」高潮・洪水ハザードマップリニューアル ～大規模水害時の犠牲者ゼロ実現へ向けて～

木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト※では、大規模水害時の犠牲者ゼロを目的に、広域避難誘導の検討や住民の防災意識啓発に取り組んできました。

今回、巨大台風による高潮・洪水の被害や避難対応について、視覚的に分かりやすく学習するツールとして木曾三川下流域「動く」高潮・洪水ハザードマップをリニューアルしました。

※木曾三川下流部の氾濫域に位置する8市町村（桑名市・木曾岬町・海津市・愛西市・弥富市・津島市・蟹江町・飛鳥村）が参画し平成28年に設立

1. 運用開始日

令和4年11月21日（月）

2. 変更内容（詳細は別紙をご覧ください。）

- ①令和3年度に実施した住民アンケート結果の反映
- ②タブレット等を含む最新のwebブラウザ対応

3. 閲覧場所

URL：<https://kisokaryu.ugokuhm.jp/>

4. 配布先

桑名市政記者クラブ、大垣市政記者クラブ、津島記者会

（問合せ先）

中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

副所長 後藤 功次 調査課長 早瀬 正格

TEL 0594-24-5715 FAX 0594-21-0893

木曾三川下流域「動く」高潮・洪水ハザードマップについて

■木曾川下流河川事務所では巨大台風による高潮・洪水の被害や避難対応について、多くの方がわかりやすく学習、検討できるようにすることを目的として、平成31年から管内8市町村(桑名市、木曾岬町、海津市、愛西市、弥富市、津島市、蟹江町、飛島村)を対象とした「木曾三川下流域動く高潮・洪水ハザードマップ」を構築・公表してきました。

■この度、令和3年度に実施したアンケート結果※を踏まえて動くハザードマップの再構築を行いました。

※アンケートの概要 https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/takashio_kouzui_kentoukai/data/220127/siryos3.pdf

動くハザードマップについて

- 「木曾三川下流域動く高潮・洪水ハザードマップ」は、避難シミュレーションなどを活用しながら、巨大台風の襲来に対して犠牲者ゼロを実現するための対応等を視覚的にわかりやすく学習するためのものです。
- 地域全体を対象としたシミュレーションが確認できるだけでなく、閲覧者の自宅の位置や避難のタイミング、避難経路等を入力することで、その場で避難シミュレーションを実施することもでき、個人の避難行動を評価・検討するツールとしても活用することができます。

今回の変更内容

- ① 令和3年度に実施した住民アンケートを反映しました。
- ② タブレット等を含む最新のWebブラウザからの閲覧に対応しました。

動くハザードマップの活用例

- ① 学校の防災教育における教材として活用できます！
- ② 地域の防災学習会などでの資料として活用できます！
- ③ 家庭での避難対応の相談ツールとして活用できます！

【前回(H28)のシミュレーション結果からの変化】

- アンケート結果を再現するシナリオを前回(平成28年)と比較すると、未だ低平地に留まる人が大半を占めていますが、前回よりも浸水域外に広域避難する人が増加しました。さらに早期段階から避難する人の増加や緊急避難場所の整備などにより、要救助者が減少しました。

